

PR



「誰にでも分かりやすく、正確に必要な情報を伝える」ことも、ユニバーサルデザインの考え方。私たちが購入する商品のパッケージデザインにも、UDを見つけました。

地元の食材を生かした「駅弁」が看板商品の「福豆屋」。「海苔のりべん」の掛け紙（パッケージ）に描かれた、どっしりとした大きな商品名。駅弁の写真も入り、内容が一目瞭然で目を引きま

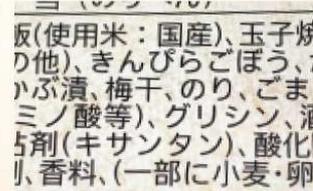
す。原材料名などの表示には、「小さくても見やすい」と第三者機関が認めた「UD フォント」（書体）を使用し、どなたにも読みやすい工夫がされています。「食品の表示は生命に関わる重要な情報なので、掛け紙は分かりやすく配慮しています」と福豆屋専務取締役・小林文紀さん。

皆さんも、身近な商品に隠れたユニバーサルデザインを、探してみたいはいかがでしょうか。



大正13年創業以来、「いつも笑顔でまごころを。」をモットーに、駅弁販売やケータリング等を行っています。UDフォントやピクトグラム（絵）を使用するなど、駅弁の掛け紙を見やすくデザインすることで、お客さまが知りたい情報を分かりやすく表示できるよう、これからも研究してまいります。駅弁を通じて、「みんなにエール」をお届けします。

福豆屋 小林文紀 専務取締役



食品表示が見やすい文字に